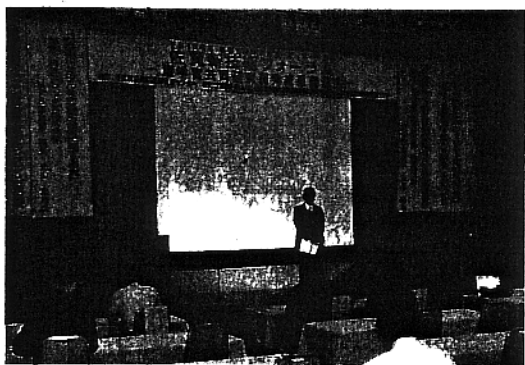




県地域産業支援センターは10日、佐賀市のマリトピアで「平成16年度佐賀新技術フォーラム」を開いた。写真。大学や企業の研究成

# 新技術フォーラムを開催

日本建設技術が研究成果発表

## 県地域産業支援センター

果を広く紹介し、産学官の人的交流を深めるのが狙い。

フォーラムでは、「表面をゼオライト化した高機能性発泡ガラス製造方法」の研究開発に取り組み、日本建設技術(株)の安高進・研究開発室長が成果を報告。独立行政法人・科学技術振興機構(文科省外郭団体)に事業を認可されたことや18年度末までに製造施設(処理能力250t/月)を建設し、工場規模での製造技術の確立、実用化を図ることを説明した。

このほか、国際連合大学



http://www.kensetsunews.co.jp

## 発行所 建設新聞社

〒849-0301  
小城郡牛津町乙柳 1145-7

☎ (0952) 66 - 5750(代)  
☎ (0120) 63 - 5750  
Fax (0952) 66 - 5751

振替口座 01770-8-89435  
購読料 月額 4,725円(税込)

佐賀県内建設業  
業界専門紙

の安井至副学長が『環境ビジネスはこうなるー環境未来予測』をテーマに講演。「これからのビジネスには、個人対応や製品の小型化、高性能化が重要となる」と指摘した。

フォーラムの研究成果発表は次の通り。

▽表面をゼオライト化した高機能性発泡ガラス製造方法の研究開発ー日本建設技術(株)

▽高機能化したアルミ基板の開発に関する研究ー共立エレクトクス(株)

▽機能性多糖類ポルフィラン分解酵素によるポルフィランオリゴ糖の製造及びその生理機能に関する研究ー佐賀県工業技術センター▽磁器廃材を用いたミリカプセルの製造と応用開発ー

佐賀大学理工学部